

市民ライターと一緒に盛り上げるコスメ構想

ライティング講座

ワークショップ、オンライン受講メニュー

10月頃/オンライン

第1回 インタビュー記事の総論 <90分>

11月頃/オンライン

第2回 日常の会話・コミュニケーションでも取り入れられる、インタビューの基本 <90分>

11月頃/リアル&オンライン@唐津

宿題、ワークショップ 1000文字程度

ライター紹介文を書いてみよう！

12月頃/オンライン

第3回 記事を書いてみてのフィードバック・振り返り <90分>

第1回 インタビュー記事の総論

- ・ そもそも、記事ってなに？
 - 記事の種類
 - 記者・ライターの役割は
- ・ 記事が完成するまでの工程
 - まず知ってほしい、記事を作る前の準備！
- ・ インタビュー記事の記者・ライターのこんな良いこと！
 - ・ インタビューを通じて、ふだん話を聞かない人の経験・思考を吸収できる
 - ・ インタビューを通じて、唐津に暮らす人たちとつながりができる
 - ・ スマホ・PC一つでどこでも作業ができる



第2回

日常の会話・コミュニケーションでも取り入れられる インタビューの基本

- ・そもそもインタビューってどうやるの？
- ・インタビュー当日、不安にならない事前準備
- ・読者にとって面白い話を引き出すには？
- ・相手の話を聴くとき、心がけたいこと
- ・スマホでOK！人を撮影するときの写真ポイント

×

- ・「化粧品事業の魅力」の発見方法
- ・「化粧品事業の魅力」を引き出す取材方法
- ・「化粧品事業の魅力」を“対象に伝わるように”伝える方法

× **地域性**

Beauty
Wellness
Organic
&Local



講師



<https://www.forio.com/manawilson>

ウィルソン麻菜

製造業や野菜販売の仕事を経て「物の向こうにいる人を伝えることが作る人も使う人も幸せにする」と信じてライターに転身。職人や生産者、メーカーなどの取材記事、ウェブサイトや冊子等の執筆を担当している。ものづくりの現場や作り手に会いに行くことが好きで、取材後は商品を買って帰る傾向がある。

そんな彼女が、なぜ「フェミニンケア」と呼ばれる分野に取り組むことになったのか。デリケートゾーンと向き合うプロダクトを通して、小林さんが寄り添いたい人々のことを聞いた。



ウィルソン 麻菜

1990年東京都生まれ。製造業や野菜販売の仕事を経て「もっと使う人・食べる人に、作る人のことを知ってほしい」という思いから、主に作り手や物の向こうにいる人に取材・発信している。刺繍と着物を愛すること、そしてインドが好き。

見て見ぬふりをしながら、がむしやりに働いた

「昔から、いつも気を抜いたときに体調を崩すんです。連休とか、大きな仕事が終わったときとか。そのときに、とても多かったのが婦人科系の炎症。今振り返



<https://lit.link/misatonoikata>

貝津美里

世代・年齢・性別・国内外問わず人の「生き方」を聴き「名刺代わりに」となる文章を紡ぎます。主なテーマ：生き方／働き方／地域／企業広報editor
本づくり：世界に一つだけの本づくりサービス「文章で残すアルバム"結びめ"」をはじめました。人と人、人と想い、想いと想いを「結ぶ」書き手でありたい。

「ロサ・ルゴサ」の由来について

「ロサ・ルゴサ」には町の人々のどんな思いが託されているのだろうか。



貝津美里

人の想いを聴くのが大好きなライター。生き方/働き方をテーマに執筆します。出会う人に夢を聴きながら、世界一周の取材旅をするのが夢です。

町がなくなる。危機感から誕生した化粧品「ロサ・ルゴサ」



Interview 2021.08.10

“私たち”の地域は、私たちの手で育む
北海道浦幌町の花「ハマナス」に託された
願い

聴いて、書いて、届いた「言葉」は
誰かの心にずっと残ります。

奮ってご参加くださいー